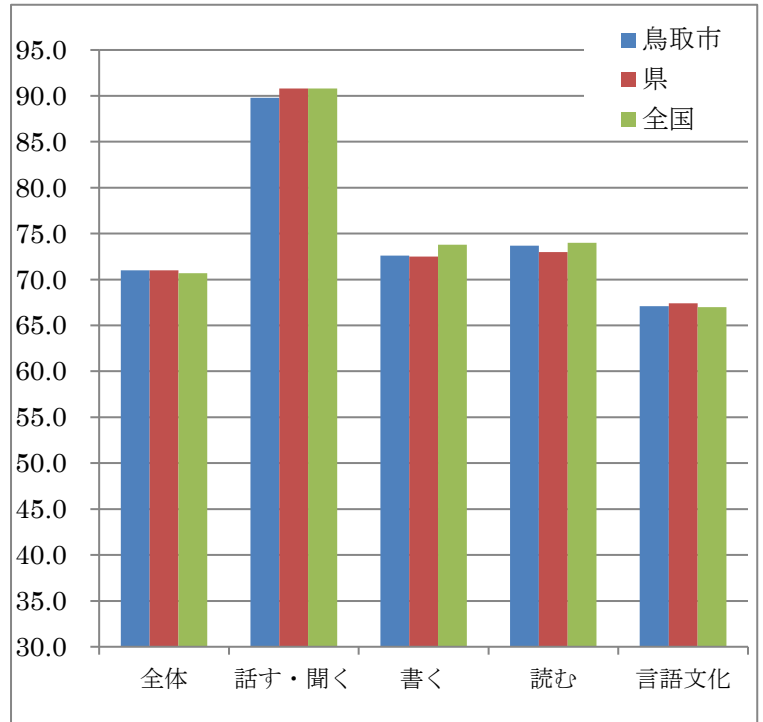


平成30年度全国学力・学習状況調査結果の概要【小学校】

教科に関する調査から －国語A〔知識〕・B〔活用〕・算数A〔知識〕・B〔活用〕・理科－

※ 表及びグラフの数値は、すべて平均正答率（％）を表しています。
(鳥取市・鳥取県の全体数値は小数点以下が表示されていません。)

国語 A	鳥取市	県	全国
全体	71	71	70.7
話すこと・聞くこと	89.8	90.8	90.8
書くこと	72.6	72.5	73.8
読むこと	73.7	73.0	74.0
伝統的な言語文化と 国語の特質に関する 事項	67.1	67.4	67.0



国語 A <主として「知識」に関する問題>
… 12問
○全体として、全国平均並である。【話すこと・聞くこと】【読むこと】【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】は全国平均並であるが、【書くこと】は－1.2％である。

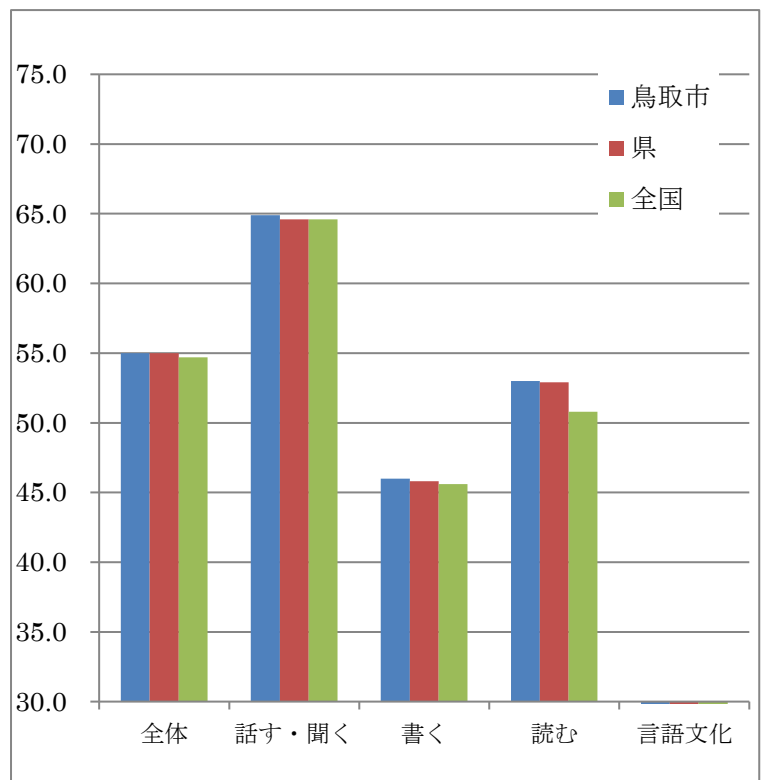
全国平均を上回る主なもの

「7. 相手や場面に応じて適切に敬語を使う」問題は、+5.0％である。
「8エ. 学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う（管理）」問題は、+1.9％である。

全国平均を下回る主なもの

「5. 文の中における主語と述語との関係などに注意して、文を正しく書く」問題は、－6.9％である。

国語 B	鳥取市	県	全国
全体	55	55	54.7
話すこと・聞くこと	64.9	64.6	64.6
書くこと	46.0	45.8	45.6
読むこと	53.0	52.9	50.8
伝統的な言語文化と 国語の特質に関する 事項			

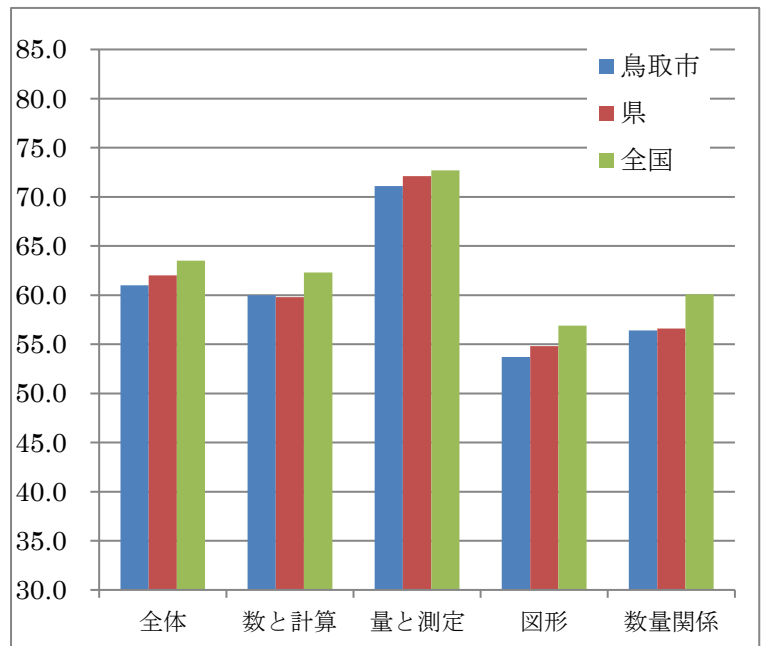


国語 B <主として「活用」に関する問題>
 … 8 問
 ○全体として、全国平均並である。【話すこと・聞くこと】【書くこと】【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】は全国平均並であり、【読むこと】においては+2.2%である。

全国平均を上回る主なもの
 「3 二. 目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながら読む」問題は、+3.3%である。

全国平均を下回る主なもの
 「1 二. 計画的に話し合うために、司会の役割について捉える」問題は、-1.2%である。

算数 A	鳥取市	県	全国
全体	61	62	63.5
数と計算	60.0	59.8	62.3
量と測定	71.1	72.1	72.7
図形	53.7	54.8	56.9
数量関係	56.4	56.6	60.1



算数 A <主として「知識」に関する問題>
 … 14 問
 ○全体として、またすべての領域において、全国平均を下回っている。特に【図形】は -3.2%、【数量関係】は -3.7% と全国平均との差が大きい。

全国平均を上回る主なもの

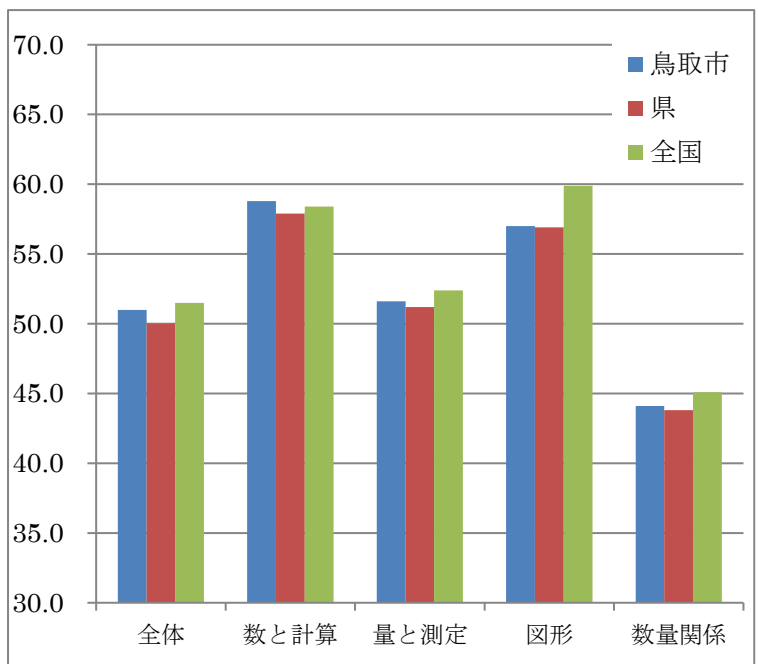
「2. 答えが $12 \div 0.8$ の式で求められる問題を選ぶ」問題は、+1.3% である。

全国平均を下回る主なもの

「1 (2). 針金 0.4 m と、0.4 m の重さの 60 g と、1 m の重さが、それぞれ数直線上のどこに当てはまるかを選ぶ」問題は、-5.0% である。

「7 (2). 円の直径の長さが 2 倍になったとき、円周の長さが何倍になるかを選ぶ」問題は、-6.8% である。

算数B	鳥取市	県	全国
全体	51	50	51.5
数と計算	58.8	57.9	58.4
量と測定	51.6	51.2	52.4
図形	57.0	56.9	59.9
数量関係	44.1	43.8	45.1



算数B <主として「活用」に関する問題>

… 10問

○全体として、全国平均並である。【数と計算】

【量と測定】【数量関係】は全国平均並であるが、【図形】は-2.9%である。

全国平均を上回る主なもの

「4 (2). 横に並んでいる七つの数について、示された表現方法を適用して書く」問題は、+1.4%である。

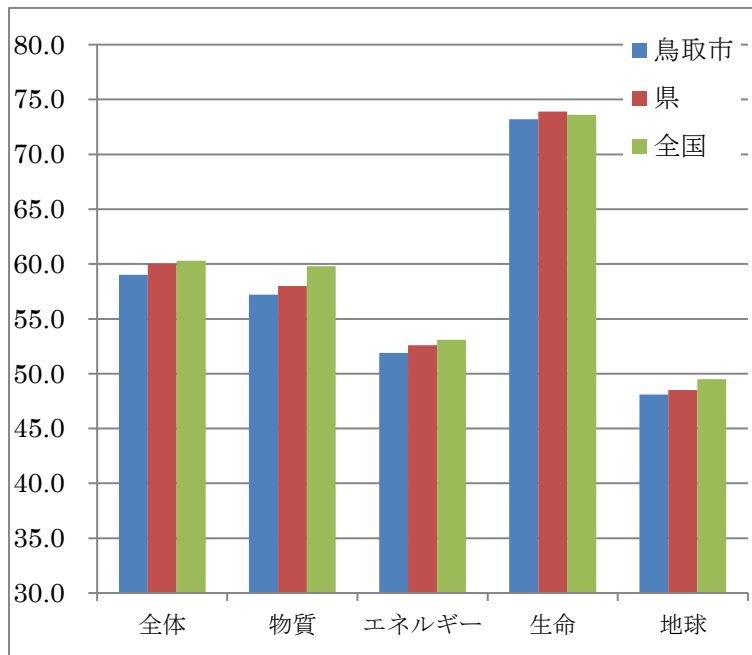
「5 (2). 4色を順に繰り返してつなげ、輪かざり1本を作ったときの、30個目の折り紙の輪の色を選ぶ」問題は、+4.5%である。

全国平均を下回る主なもの

「1 (1). 合同な正三角形で敷き詰められた模様の中から見いだすことができる図形として、正しいものを選ぶ」問題は、-4.4%である。

「3 (1). メモ1とメモ2は、それぞれ、グラフについてどのようなことに着目して書かれているのかを書く」問題は、-3.3%である。

理科	鳥取市	県	全国
全体	59	60	60.3
物質	57.2	58.0	59.8
エネルギー	51.9	52.6	53.1
生命	73.2	73.9	73.6
地球	48.1	48.5	49.5



理科

<主として「知識」に関する問題>…3問
 <主として「活用」に関する問題>…13問
 ○全体として、全国平均を下回っている。【生命】は全国平均並であるが、特に【物質】は-2.6%と全国平均との差が大きい。

全国平均を上回る主なもの

「1 (3). 腕を曲げることのできる骨と骨のつなぎ目を表す言葉を書く」「2 (2). 流れる水の働きによる土地の侵食について、自分の考えと異なる他者の予想を基に、斜面に水を流したときの立てた棒の様子を選ぶ」問題は、どちらも+2.1%である。

全国平均を下回る主なもの

「4 (3). 食塩を水に溶かしたときの全体の重さを選ぶ」問題は、-4.1%である。
 「4 (4). 食塩水を熱したときの食塩の蒸発について、実験を通して導きだす結論を書く」問題は、-4.6%である。

児童質問紙調査から —学習・学習習慣や生活習慣などに関する質問—

※ %は肯定的回答, ()内の数字は全国平均との差, ◇は鳥取市が重点と考えている項目を表しています。

学習に関する質問紙

<国語関係>

「学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、10分以上読書をする（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）」 67.3%（+1.1…過去3年間で増加傾向、今年度全国平均を上回る）

<算数関係>

◇「算数の勉強が好き」 55.7%（-8.3…過去3年間で減少傾向、3年間共全国平均を下回る）

「算数の勉強は大切だ」 91.9%（-0.2…過去3年間同水準で推移、全国平均並を維持）

◇「算数の授業で新しい問題に出合ったとき、それを解いてみたいと思う」

74.6%（+0.3…過去3年間の一定傾向はなく年度により増減）

◇「算数の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考える」

79.6%（+1.2…過去3年間で減少傾向だが、全国平均を上回る）

「算数の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考える」

75.1%（-3.4…過去3年間で減少傾向、昨年度より全国平均を下回る）

<理科関係>

◇「理科の勉強が好き」 78.2%（-5.3…平成27年度調査結果より下回る）

「理科の勉強は大切だ」 85.7%（+0.3…平成27年度調査結果より下回る）

「理科の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考える」

60.8%（-3.9…平成27年度調査結果より大きく下回る）

<その他>

◇「自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していた」 58.6%（-2.4…過去3年間で減少傾向、昨年度より全国平均を下回る）

◇「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」

75.6%（-2.1…過去3年間で最も高い肯定率だが、今年度初めて全国平均を下回る。）

学習習慣・生活習慣などに関する質問紙

<自尊感情>

◇「自分には、よいところがある」 81.5% (−2.5…過去3年間で最も高い肯定率だが、全国平均を下回る)

<夢・目標>

◇「将来の夢や目標を持っている」 82.3% (−2.8…過去3年間の一定傾向はなく年度により増減、3年間共全国平均を下回る)

<規範意識>

◇「学校のきまりを守っている」 89.0% (−0.5…過去3年間で減少傾向、2年前まで全国平均を上回っていたが、昨年度より下回る)

<生活習慣>

「朝食を毎日食べている」 95.2% (+0.7…過去3年間同水準で推移、全国平均並を維持)

「毎日、同じくらいの時刻に寝ている」 78.3% (+1.3…過去3年間で減少傾向、全国平均並か上回る傾向)

「毎日、同じくらいの時刻に起きている」 89.9% (+1.1…過去3年間同水準で推移、全国平均並を維持)

<学習習慣>

◇「家で、学校の宿題をしている」 96.5% (−0.6…過去3年間同水準で推移、全国平均並を維持)

◇「家で、学校の授業の予習・復習をしている」 67.6% (+5.0…今年度より予習・復習が一つの質問紙となり経年変化はわからない)

<地域>

「今住んでいる地域の行事に参加している」 76.8% (+14.1…過去3年間で減少傾向だが、3年間共全国平均を大きく上回る)

「地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある」 61.9% (−1.9…過去3年間で減少傾向、昨年度より全国平均を下回る)